

# 自ら考え、進んで行動する心豊かな九段の子の育成

## ～全教育活動を通じた道德教育の推進と道德授業の工夫～

### 1 主題設定の理由

本校の児童は恵まれた環境の中で、おおらかにのびのび育っている。保護者は児童の教育、特に学習面への関心が高く学校教育への期待も大きく協力的である。一方、社会の中でたくましく社会性を発揮しつつ生きていくという点では課題がある。指示されたことには一生懸命取り組み素直によく努力するが、さらに伸ばしたい力として自分から何かに挑む、進んで行動する、言葉で分かりやすく表現する、他の人をより一層思いやる等が挙げられ指導を重ねている。

本年度は、昨年度までの人権尊重教育を推進することにより培われた素地を基に、本校の重点教育活動である異年齢交流を含めて全教育活動を通じて行う道德教育と道德授業の充実を目指すことにした。

道德教育の改善については、平成26年10月、中央教育審議会（答申）として道德の時間を『特別の教科 道德（仮称）』として位置づける方針が示された。このような時期だからこそ、道德教育は全教育活動を通じて行うこと、道德の時間はそれらの道德教育を補充、深化、統合するものであることなどの特質を校内研究を通じて再確認する必要があると考える。道德教育を通してどのような児童を育てたいのか、そのためにはどのような指導の工夫が必要か確認した上で、今後示される道德教育の改善に臨みたいと考えている。

基本に立ち返り、道德教育全体計画、各学年道德年間指導計画の見直しと全体計画別葉の作成を進め、それに従い昨年度の成果を生かしながら道德教育の推進に努めたい。

以上のような児童の実態、背景から、研究主題を「自ら考え、進んで行動する心豊かな九段の子の育成」とし、その実現に向けて学校全体で実践と研究を積み重ねていくことにした。

### 2 研究内容と方法

#### (1) 全教育活動における道德教育の概要

##### ア 道德教育の全体計画の見直し

全教育活動を通じた道德教育を推進するにあたり道德教育の全体計画の見直しを図った。

##### イ 全体計画の別葉の作成

各教科等並びに学校行事、日常的な活動、家庭地域との連携において道德性を養う指導の内容や時期を整理して、道德の内容項目別に全体計画の別葉に示し、全教育活動の要となる道德の時間における補充、深化、統合を各学級担任が一層意図的に行うように努めた。

##### ウ 道德の時間の年間指導計画の見直し

昨年度より活用している東京都教育委員会「東京都道德教育教材集」並びに文部科学省「私たちの道德」の活用も含め検討を進めた。各学年の年間指導計画には主な関連活動等も明記し全教育活動で道德教育を推進し充実させることを目指した。

##### エ 「九段小の12ヶ月」の作成（図2参照）

各月毎の行事や事務に関わる準備のためのマニュアルとして「九段小の12ヶ月」を作成した。「心を豊かにする視点」とその手立てを検討し明記した。計画的に意図的に継続して学年・学級経営に臨み、全教育活動で心豊かな九段の子の育成を進めることが重要と考えた。

図 2

第 6 学年【5 月】

平成 26 年度 九段小の 12 か月

日	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31
曜日	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土
行事等	5-①上旬 第 1 回縦割り班活動フレンズ班の指導 ◇最上級生として縦割り班活動に自分から取り組む。 ◇思いやりの気持ちをもってお世話をする。										5-② 7日 校外体育					5-④29 日～31 日 箱根移動教室 ◇箱根の自然・歴史・伝統工芸について理解を深め、そのよさを知り大切にする。友達のよさを知り、つながりを深める。															
具体的な対応	5-① 代表班長の選出 ・ABC 班長決定 ・仕事内容を知らせ自覚を促す ・縦割り班で行う集会(第 1 回ワッハッハの日) ・クリーンキャンペーンアダプト花植え ・フレンズ班遊びの概要を伝える										5-④ 箱根移動教室に向けてのスケジュールを保護者に 5 月の学年便りで知らせる。 ・健康観察の開始 健康観察カードの記入開始 ・健康調査票 保険証コピー 小遣い提出 ・事前検診の日時 健康観察カードの持参 ※アレルギー児童・棄持参の児童保護者との 諸連絡 ・個人情報厳格 ・しおりの作成 見学先申し込み 生活指導上の諸注意 ・風呂の入り方 長い髪は束ねる。時間厳守 ・朝食 バイクのマナーの事前指導徹底 ・見学先での声の大きさ ・話を聞く態度(バスの車内 見学先) ・出発式 開校式 閉校式 到着式の指導 ・お土産購入に関連して お釣りの管理 お土産の保管(袋に記名)					5-④ 班編成 学年枠か学級枠かを検討する。生活班 行動班の決定 総合的な学習の時間としての指導計画にたい指導を進める。 テーマ「箱根で調べよう」 ・箱根の自然 ・箱根の歴史 ・箱根の伝統工芸 寄木細工 ※事前に調べ学習 現地で実際に観察 インタビュー 帰校後 まとめ															
備考	5-③ 区達成度調査への心構え ・誤答を恐れ無答にならないように ・時間配分に注意 ・文字 数字を丁寧に書く ・家庭学習のすすめ										5-④ 同時期実施校との連絡 連携 使用場所の確認 式の分担 帰校後、お世話になった方にお礼状を書く。 保険証コピーの返却 会計報告作成					・健康診断の結果、治療の必要な児童に声をかける。 ・道徳地区公開講座に向けて ゲストティーチャー(保護者)決定															

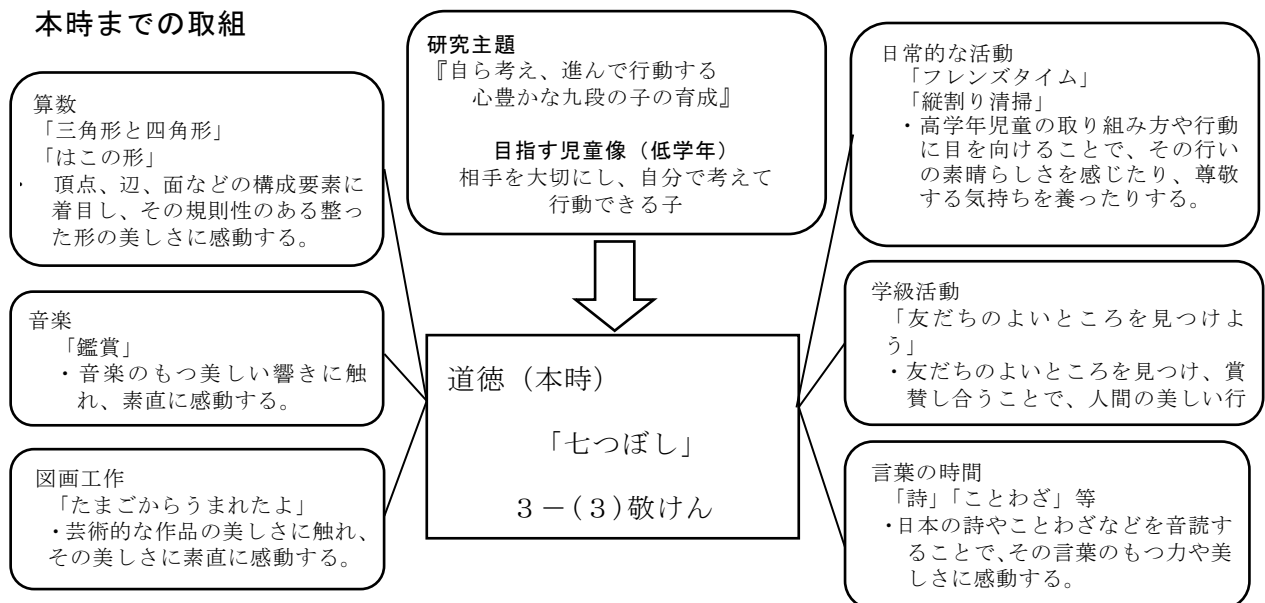
(2) 道徳の時間における指導

要となる道徳の時間に大切なのは、教師が補充、深化、統合の方向性を明らかにして、ねらいを明確にした授業を行うことである。指導案の本時までの取組を以下のように工夫をした。

ア 別葉との関連を明確にする工夫 (図 3 参照)

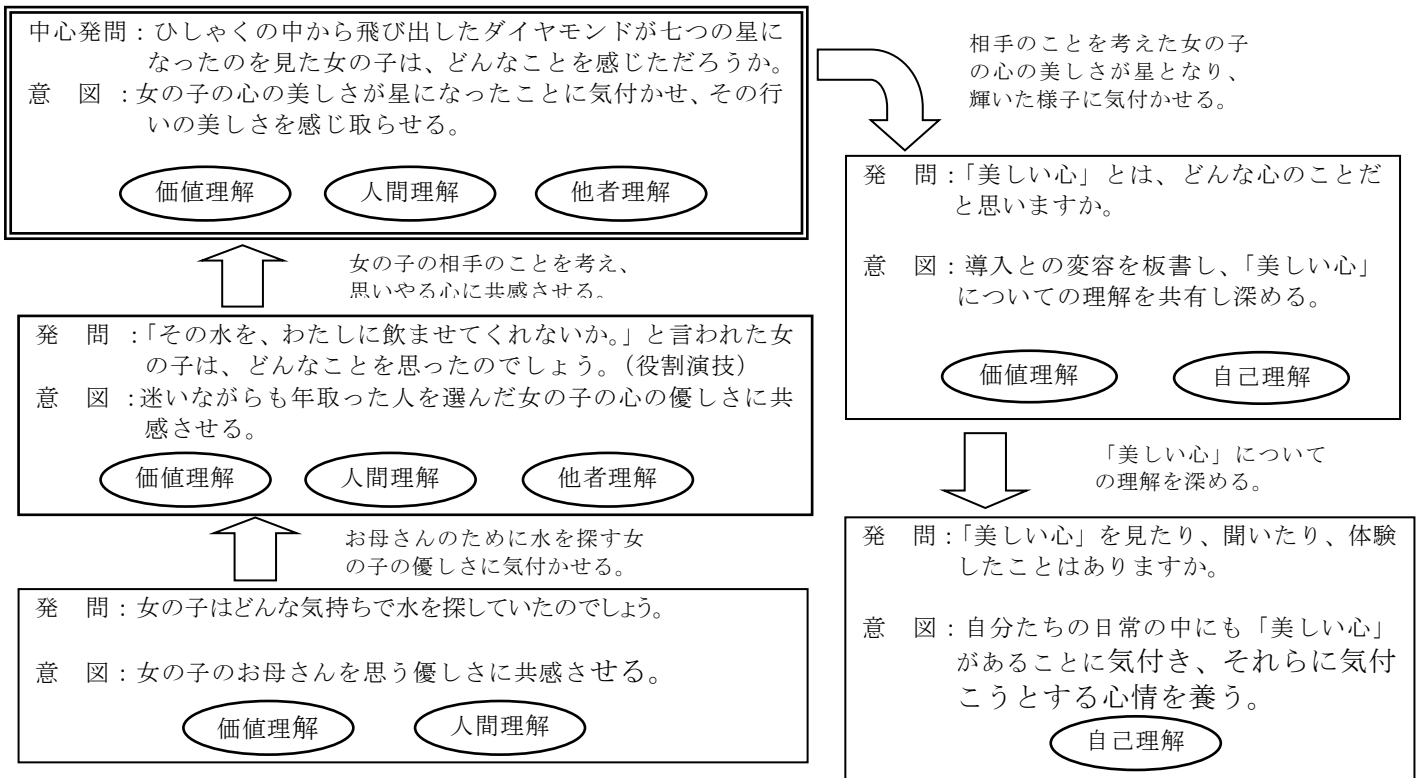
指導案の児童観に、本時の内容項目に関わる全教育活動との関連を明らかにした図を載せるようにした。本時の道徳の授業が補充、深化、統合のどれに当たるのかを考え、指導者の意図を明確にして臨むことができる。また、各教科等における道徳教育についても計画的に関連をもって進められる。授業のねらいをより深く明確に意識して道徳の授業を行うことができるようにした。

図 3 第 2 学年 資料名「七つぼし」



イ 本時のねらいや教師の意図が明確になる資料分析の工夫

授業者の価値観、児童観を明確にし、資料の特性を生かした資料分析に努めた。特に発問の構成については重要なものに絞ることが求められる。そのために授業のねらいに強くかかわる中心的な発問をまず考え、次にそれを生かすために前後の発問を考え全体を一体的にとらえるようにした。



### 3 具体的な取組

#### (1) 道徳の時間における指導

《A：全学年共通の指導の工夫》

文部科学省「私たちの道徳」、東京都教育委員会「東京都道徳教育教材集」の書き込みページやコラムを導入または終末の段階に効果的に取り入れることを試みた。

#### ア 話し合いの工夫



自分の考えがもてない児童がいる場合や話し合いに慣れていない低学年の場合は、ペアやグループで意見を交流し、その後で学級全体の話し合いに発展させることを積極的に行った。

#### イ 表現活動の工夫

児童が主体的に道徳の授業に参加し、自分とのかかわりで道徳的価値について考えることができるよう、考えさせたい場面での発問や活動を工夫した。低学年では、登場人物の動きやせりふを模擬、模倣させるなどの動作化や劇化、全学年で役割演技を積極的に取り入れた。



## ウ 板書を生かす工夫



主人公の心の葛藤を矢印で結んだり時系列で示したりした。価値に迫るため、次の3点の内容が含まれる板書が必要だと考えた。

- ① 本時でねらう価値が示されている。
- ② 価値に迫るための困難さが示されている。
- ③ 克服するための手だてが示されている。

### 《B：低中高学年分科会共通の指導の工夫》

#### ア 資料提示の工夫（低学年）

資料提示の仕方は授業のねらいや児童の実態、資料の特性に応じて変化する。それを見極め、授業のねらいに迫るために適切な資料提示を行うことを工夫した。

#### イ 発問の工夫（中・高学年）

ねらいに迫るために資料分析表に従い、発問構成を考えた。中学年では自己の生き方を振り返り、考えを深める場面にスムーズに入るために、補助発問を用意することとした。また、多くの児童が自分の考えを発言できるように、複数の視点の発問を用意した。

### 《C：その他の指導の工夫》

#### ア 書く活動の工夫



自己の振り返りの場面

#### イ 場面絵の工夫



手作りの場面絵の提示

#### ウ 心情表現の工夫



用具の活用(心情円盤等)

## (2) 各教科等における指導

ア 教科指導の例（音楽科）第3・4学年 題材名「心を合わせて えんそうしよう」

【道徳教育とのかかわり】中4-(5)郷土愛 4-(6)愛国心・国際理解 2-(3)友情

イ 学級活動の例（いじめ防止授業）東京都教育委員会いじめ防止プログラム

第2学年 題材名「友だちのよいところを見つけよう」

【道徳教育とのかかわり】低2-(3)友情 1-(3)正義・勇気

## 4 特別活動における指導例

### (1) 縦割り班活動（フレンズタイム）

本校は異学年交流に力を入れている。6年生が全員班長となり縦割り班活動を推進している。

班ごとに遊びを考え、休み時間に仲良く遊ぶほかに、縦割り班清掃にも取り組んでいる。年2回ある「ワッハッハの日」の遊びは児童が大変楽しみにしている。第1回は、6年生が中心となり遊びを中心とした多彩なブースを考え、互いに交流して楽しむ。第2回は、保護者・地域の方、教職員がブースを運営する。



### (2) 異学年交流

縄跳び大会に向けて1年生と6年生が交流する「縄跳び30秒チャレンジ」。優しく分か

りやすく教え、互いのつながりを深めている。6年生は1年生に信頼され慕われ、さらに最高学年としての自覚を深めている。

### (3) 人権集会

人権週間に人権標語作りを行っている。親子で話し合い一人一人権標語を作り、短冊に書き互いに読み合う。また、各学級で話し合い学級の人権標語作りを行い、人権メッセージ集会でその思いや願いについて発表している。自分も他の人も大切に作る気持ちをみんなでも共有し確認をする機会となっている。人権集会には千代田区人権擁護委員の方からお話を伺った。人権について考え、互いの価値を認め合うことの大切さを学んだ。



(6年生が座右の銘を発表)

## 5 日常における指導例

### (1) 心の時間 (毎月第3金曜日 朝の時間)

文部科学省「私たちの道徳」、東京都教育委員会「東京都道徳教育教材集」を学級全員で読んだり話し合ったりすることで児童の道徳性を育てている。その日は家庭に持ち帰っている。

### (2) 国語タイム (朝の15分間の活動)

火・金曜日には「読書」、水曜日には「言葉の時間」として発音・発声練習や詩の音読、暗唱などの表現活動を行っている。取り組んだことの中から、年間各学年1回、言葉にかかわることや群読などを発表している。道徳授業地区公開講座では、テーマを決め、詩の群読や言葉に関することの発表を行った。表現の楽しさを味わいながら感性や情緒を育てている。

## 6 幼稚園との連携 (連携の意図とその概要)

九段小学校と九段幼稚園では、児童と幼児との交流活動を通して就学に向けて学校環境に慣れ親しみ、滑らかな接続ができることを目指している。年間指導計画に従い、小学校の全児童と幼児が互いにめあてをもち交流している。5歳児と5年生の交流(ゴーゴーキッズ)では一緒に遊ぶ他に、運動会では毎年幼稚園全園児と5年生と一緒に演技をしている。また幼稚園の修了式にも出席し、お祝いの合唱や演奏をしている。児童は園児に温かい心で優しく接している。園児から慕われ頼りにされ、自分はみんなのために役立っていると実感し自尊感情、自己肯定感を高めることに大変有効な活動となっている。また、2年生以上の希望者が、幼児に絵本の読み聞かせを年間20回実施。休み時間には一緒に仲良く遊ぶ姿が見られ、かかわりが増えている。



## 7 地域・家庭との連携

### (1) 学校校おうえん隊による活動

- ・保護者のボランティアによる読み聞かせ
- ・千代田区クリーンキャンペーン「アダプト花植え」町会、地元の企業、大学、区役所と連携

### (2) ゲストティーチャー

#### 《道徳授業地区公開講座》

地域や保護者の方々がゲストティーチャーとなり、終末のお話を担当する。児童のより豊かな心を育てるために、学校と地域・保護者の方々と一体となった道徳教育の充実を図っている。

#### 《身近な自然に親しむ授業》

近隣の大学の先生による「月と星の観察会」(4年生)

科学技術館講師による「北の丸公園自然観察会」(6年生)

#### 《自己の生活を見直す授業》

日本棋院、プロ棋士による「囲碁教室」(全学年)

千代田区の相撲連盟講師による、「体力向上相撲」(1、2年生)

お箸知育協会による「お箸知育教室」(2年生)